

サポーター会員制度について

経営管理グループ リレーションオフィサー 椿 康平

概要

当館は、指定管理料と利用料金収入等に基づき管理運営を行っている。持続的に子どもたちの学びを支え、新たな地域の価値を創造していくため、事業プログラムの拡充が必要と考え、2023年4月よりサポーター会員制度を設立。本稿では、制度のねらいや実施内容、今後の課題などについてまとめた。



1. はじめに

法人・団体を対象とした、浜松科学館サポーター会員制度は、協賛金事業として企業・団体からの協賛金による財政支援を目的に実施。

より質の高い事業や新規コンテンツを展開するために地元経済界を中心とした支援を仰ぐことが趣意となる。

2. 制度詳細

浜松科学館の活動にご賛同いただける法人・団体のみなさまに、浜松科学館の運営を継続的なサポートを依頼する。

- ・期間：1年間（4月1日～3月31日）
- ・年会費：1口110,000円（消費税10,000円含む）
- ※期間途中からの入会でも年度単位の会費負担とする

3. サポーター会員制度による資金の使途

サポーター会員の会費は年会費として指定管理者が收受し、事業運営の拡充と科学館が提供するサービスの向上を目的として使用する。詳細は以下のとおり。

- ・常設展示運営費
→展示解説などの充実

- ・プラネタリウム運営費
→大型映像作品賃借料
- ・特別展、企画展運営費
→展示制作費、会場設営費 等
- ・教育普及事業費
→サイエンスショー、ミニワーク材料費

4-1. サポーター会員企業

団体数：47社
協賛口数：58口
※2024年3月31日時点

共和レザー株式会社
スズキ株式会社
ヤマハ株式会社
ヤマハ発動機株式会社
ローランド株式会社
静岡銀行
遠州信用金庫
JA とびあ浜松
中村建設株式会社
ガリバー住吉バイパス店

株式会社河合楽器製作所
 本田技研工業株式会社
 浜松磐田信用金庫
 アクトサービス株式会社
 アズマ工業株式会社
 株式会社飯田組
 エンケイ株式会社
 遠州鉄道株式会社
 株式会社エス・ビー・エム
 サーラエナジー株式会社
 株式会社ザザシティ浜松
 株式会社シービーエム
 株式会社システック
 社会保険労務士法人 村松事務所
 須山建設株式会社
 聖隷クリストファー中学校
 ソミックグループ
 竹下一級建築士事務所
 中部印刷株式会社
 テイボー株式会社
 天龍製鋸株式会社
 東邦液化ガス株式会社
 株式会社中村組
 日管株式会社
 有限会社ネットワーク
 株式会社ハマキョウレックス
 浜松駅ビル メイワン
 浜松学芸中学校・高等学校
 浜松聖星高等学校
 浜松ヤナセ株式会社
 株式会社プライムエリート
 丸八不動産グループ
 三井工業株式会社
 山崎電機産業株式会社
 株式会社吉和田浜松
 株式会社サイクルクリーン
 ローム浜松株式会社

(敬称略)

4.2. 特典内容

サポーター会員の特典

	内容	口数	備考・詳細
特典1	常設展示室入場 (プラネタリウム観覧付き) 招待	1口〜	10枚 (1口につき)
特典2	ニュースレター「COMPASS」 送付及び社名記載	1口〜	送付は発行毎 (年間5回、部数10部) ・発行部数: 約75,000部 ・2022年度は2回 (12月、3月) 発行 ・浜松市・湖西市・磐田市・袋井市・森町の全小学校に 人数分配布 (掛川市はデータ納品) 
特典3	浜松科学館ウェブサイト 社名掲出	1口〜	社名掲出 (リンク設定なし)
特典4	特別展・企画展の内覧会 ご招待	1口〜	開催日前日の関係者・報道向け内覧会
特典5	記事の送付	1口〜	年間1回発行予定
特典6	大型映像番組に社名を放映	10口〜	番組上映前に社名を放映

招待券のプレゼントや広報紙定期購読、特別展・企画展の内覧会等に招待することでプレミアム感を高め、より密接なエンゲージメントを構築していくことを狙いとしている。

また浜松科学館をコミュニティをつなぐメディアと考え、プラネタリウムドームやウェブサイトにはサポーター会員の企業名を掲載し、地域住民とサポーター会員団体との接点になるように企図して動いている。

1: 招待券

常設展 + プラネタリウム観覧券 (大人 1,100円相当)

1口につき10枚

2: 特別展・企画展招待券

特別展、企画展を年4回開催。

1口につき10枚。

3: 特別展・企画展内覧会招待券

開催日前日の関係者・報道向け内覧会にご招待。併せてプラネタリウム大型映像の内覧も開催。

4: ニュースレター「COMPASS」送付及び社名記載

発行部数: 75,000部 (年間5回発行)

配布先: 浜松市、湖西市、磐田市、袋井市、森町の全小学校 (掛川市はデータ納品)、市内中学校 (一部)、市内公共施設、観光案内所等

5: 浜松科学館ウェブサイトへの社名掲出

当館ウェブサイト内、「サポーター」ページに社名・団体名を記載

6: プラネタリウムドームでの社名放映

平日2回、土日祝5回のプラネタリウム投影前に社名・団体名一覧を投影

おわりに

今後の課題として以下3点を挙げる。

(1) 既存のサポーター会員企業とのエンゲージメント強化

サポーター会員企業を巻き込んだ館運営を行い、互いのエンゲージメントを強化することは必須と考える。サポーター会員企業限定の特別開館、イベントの開催など、チケット・金銭面の優遇だけではなく、事業の連携も含めた多角的なメリットをもっと打ち出していきたい。

(2) サポーター会員企業の拡大

子供たちの学びを支え、地域とのさらなる連携を深めていくためにも、地元企業への積極的な営業活動は今後も継続的に行っていきたい。

(3) 個人会員を含めた浜松科学館パートナーシップの設計

市民が科学館を支援する動機や目的（ニーズ）はさまざまある。科学館事業の趣旨に賛同して支援して下さる方。年間パスポートを購入することにより、繰り返し施設利用をして支援して下さる方。ボランティアメンバーのように、市民の立場で科学館の運営をサポートして下さる方など。

私たちは多くの方に支えられ、利用していただくことで運営している。

現在は法人・団体を対象としたサポーター制度であるが、個人会員・ボランティアスタッフを含めたメンバーシップ（賛助会）という概念に包括することが望ましく、ニーズに応じた適切な対応、制度を設計していきたい。